

VELC Test[®] [ベルクテスト]

Visualizing English Language Competency Test

VELC Test とは？

テストニング・英語教育の専門家チームである**英語能力測定・評価研究会 [VELC 研究会]** が日本人大学生のために開発したシンプルで信頼性の高い英語力診断テストです。**VELC は、Visualizing English Language Competency (英語能力の可視化) の略で、受験者の英語力の全体的なレベル・スキル別のバランスなどをわかりやすく視覚的に洗い出す、という意味を込めています。**

試験時間は 70 分 (音声 CD で時間管理)、受験料金は 800 円 (税抜) / 1 人、試験問題はリスニング・リーディング各 60 問で計 120 問、解答形式はペーパーテストによるマークシート形式の解答となっております。

なお、VELC 研究会の事務局は株式会社金星堂が務めており、VELC Test の実施などを担当しております。

厳しい開発基準

5,000 人を超える様々なレベルの大学生被験者の協力のもと、項目応答理論のモデルの中でも最も厳しい基準を持つ**ラッシュモデルに基づき開発**されました。まず、作成した問題を実際に日本の大学生に試行し、その結果に基づいて修正し、それをまた試行、最終的に信頼性のある結果を出すことが判明した問題項目だけを残し最終テストを作成しました。

シンプルで弁別性に優れた、信頼性の高い VELC Test は、幅広い層の受験者に対応する問題を用意。日本人大学生の英語力を正確に診断します。

日本人大学生のためのテスト

大学生の英語力を徹底的に研究して開発された、幅広い難易度のテスト問題は、**大学生が受験するのに適したアカデミックな内容**です。例えば「温暖化」「犯罪率」「特定スポーツの歴史」「デジタル機器の発達」など、理科的・社会的・人文的な現代社会をとりまく様々なトピックについてのレクチャーや説明の一部を切り取ったような題材を用いています。

迅速で見やすい結果通知

解答用マークシート到着の**翌日中には e ポートフォリオ上で結果通知**。土日・祝日も対応可能です。e ポートフォリオでは、受験者に、スコアレポート・英語力のバランス・弱点分析・経年変化・状況別 Can Do レベルや TOEIC 予測スコアなどを提示します。また管理者用画面では、学部やクラスごとの管理やテスト結果を CSV 形式でデータ抽出することも可能です。

さらに、**クラス分け作業、レベル分け作業、別途データ提出などにも無料で迅速に対応します。**

コミュニケーション能力測定

コミュニケーションの失敗は、英語を構成する小さな要素 (ひとつの単語・ひとつの音声の変化・ひとつの文法項目など) の理解不足により起こります。そこで VELC Test では、**ひとつの問題で測定する要素をできる限り小さくしました**。これにより、意思疎通の失敗原因がより簡単に見つかり、**コミュニケーション能力をより細かく、直接に測定することが可能**になりました。

例えば、従来のテストには、以下のような形式が見られました。

- ・やや長めの題材を読ませる (聞かせる)。
→その内容がどの程度分かったかを測るための多肢選択形式の質問を複数配置する。
- ・現実のコミュニケーションで必要となるような場面を設定する。

→その設定の中で質問をし、答えを選ばせる。

上記のようなテストの場合、結果を次の学習に役立てようとしても、診断的な情報がほとんど得られず、どのような分野を補強すればよいかの指針を与えることは難しいようです。「長めの会話・アナウンス・ナレーションなどにおいて詳細が理解できる」という「能力」が「あまりない」と判定されたとしても、では何が足りないからその能力がないのか、どうすればその能力がつくのかは不明です。

このような問題形式は、解答が正しかった時でも誤っていた時でも、どうしてその解答を選べたのかが必ずしも明らかにはなりません。なぜなら、一つの解答を選ぶにいたるまでに複数の能力が関わり、複数のステップが踏まれるからです。正しい解答が選ばなかった時に、どの段階で誤解が生じたのかが分かりません。

その点、新しく開発した VELC Test は、**一つひとつの問題に関する英文題材の量が少ないため、正しい答えを選べた時、選ばなかった時の原因がより簡単に特定できます。**このため、結果に基づいて、より細かな診断情報を提供し、形成的評価に役立てることが可能になります。

解答時の理解度を正確に得点化（形式がシンプルであるがゆえの信頼性の高い選択肢）

VELC Test と他のテストとの違いは、問題形式として、**テストのためにわざわざ作った正答選択肢を使用しない**ため、より信頼性のある測定が可能だということです。

通常のテストでは、本文に対して、その該当部分を別の表現で言い換えた選択肢を正答として設けることがほとんどです。このため、選択肢の作り方によって得点が左右される傾向がありました。つまり、本文は理解できたが選択肢が理解できなかったために正解できない、という場合、また逆に、本文は実は分からないのだが、選択肢にヒントがあって正解してしまう、という場合もあります。

この点、VELC Test は、問題形式として、

本文で言われた語はどれか（リスニング Part 2）／本文として次に続くものはどれか（リスニング Part 3）／本文を完成させるためにどこに語を補う必要があるか（リーディング Part 2）／本文の空所に入るものはどれか（リーディング Part 3）

など、すべて「正解として選ぶのが本文そのものの一部」という形を採用しています。**正解が、本文の一部そのものですから、本文が理解できれば必ず正解でき、逆に、正解できたということは本文が理解できたということ**で、得点と本文理解の程度がより直接的に結びつくのです。

大学生向け状況別 Can Do レベル

VELC Test では**日本人大学生が実際のコミュニケーションの場面で遭遇する状況にあわせて**、状況別 Can Do レベル診断レポートでフィードバックを行います。

また状況別に**単に「できる・できない」ではなく**、例えば「日本で出版された英語の新聞で国内ニュースを読んで 30%の内容が理解できるでしょう」というように**「何割できる」を表現**します。

知識・スキル別の細分型診断と学習アドバイス

テストに解答するために必要な知識やスキルを細分化し、それぞれの能力を診断。

問題の一つひとつを分析し、その問題に解答するにはどのような知識・スキルが必要であるかを洗い出すことで、従来にはなかった**細分スキルに関する診断フィードバックができる**ようになりました。

具体的には、

あいまい母音を含む語の聞き取り能力／リンクして発音された語句の聞き取り能力／関係詞を含む節を理解する能力／比較的長めの主語を正しく理解する能力／挿入的要素、表現などがある文を理解する能力

などについて診断し、全国の大学生の標準正答率との比較を表示します。

正答率の表示だけでなく、どのような面を補強していけばより英語力を向上できるかの**学習アドバイスも**行います。